

～実施済イベントの内容紹介・その他情報～

第15回 縄文の森秋まつり



▲「ジャグラーひがちゅう」によるステージパフォーマンス



▲親子でまが玉作り

体験広場の特設ステージでは、『鹿児島実業高等学校吹奏楽部』による華麗な演奏や、ヤッセンボー、つんつんも出演した『薩摩剣士隼人ショー』、『国分中央高等学校ダンス部』によるキレッキレのダンスと、道具を器用に操る『ジャグラーひがちゅう』によるパフォーマンスがあり、大いに盛り上がりました。

また、縄文体験のブースでは、親子・友だち同士で竹細工や弓矢作り、まが玉作りなどで秋の一日を満喫されていました。

縄文の森から星座を観察しよう



▲縄文時代の星座についても学びました



▲望遠鏡で星空観察

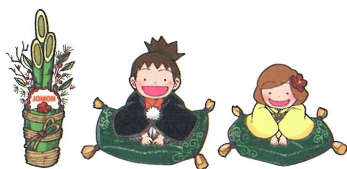
不思議探検は、「自然に秘められた謎を解き明かそう!」をテーマに年3回実施しています。11月10日(土)には、「縄文時代と現在の星空は違うの?」「星座観察の仕方は?」等、星について県立博物館 鈴木先生から分かりやすい解説を受け、実際に全員で弓張橋から星空を観察しました。

当日は、土星や火星も望遠鏡で見ることができ、参加者の皆さんからも「満天の星空で町の灯りがいないから絶好の観察場所だ」と大満足の講座となりました。

ミニ門松作り

お正月を楽しもうの「ミニ門松作り」が12月22日(土)に開催されました。当園イベントでも特に人気があり、すぐに定員オーバーになってしまうため、参加できなかったお客様には大変申し訳なく思っています。ノコを使って竹を切ったり、一對のバランスを整えたり、手作りの門松で新年を迎える準備をします。各グループで協力して、素敵な「ミニ門松」が完成しました!

参加者からも「昔からの風習を体験できて、子どもにとっても良い経験になった」と喜んでいただきました。



▲ミニ門松作りに挑戦!

どんぐり倶楽部 ボランティアガイドさんの思い

まず地元の施設を訪れてみよう
無職 賞額 道雄 70 示願火おこし体験学習館
定年で仕事を辞めて半年 縄文センター、展望所、遺跡保存館、地蔵観察館など
返じやないけれど、微力ながら何かできることはないかと日々考えています。
た。そんな時、ウオーキングで知ったNさんの紹介で、週末に上野原縄文の森でボランティアガイドをするようになりました。
県外からのお客様が多く、時には国外からも観光マップを手に見学に来ます。一方、上野原縄文の森は知っていたけれど初めて訪れた、という地元の人が大勢いることに驚きました。
この見学エリアや体験エリアには、土器・石器展

(南日本新聞 平成30年11月2日5面参照)

第53回企画展講演会

近年の発掘調査により弥生時代の遺跡が次々に発見されており、縄文時代だけでなく弥生時代においても鹿児島独自の豊かな弥生文化が存在していた「スゴイかごしま」であることが明らかになってきています。

当園では初めてとなる弥生時代に関する企画展を行い、1月12日(土)には国立歴史民俗博物館の藤尾慎一郎氏による講演会を実施しました。講演会は福岡からも話を聞きに来られた方もいらっしゃり、大盛況でした。講演内容は、弥生時代の始まりが500年遡った経緯などをお話いただき、ギャラリートークでは、展示品を前に鹿児島の独自性をお話いただきました。



▲講演会の様子



▲かごしまの弥生文化の中心となる土器

ミュージアムショップが リニューアルしました!!

お土産にミュージアムグッズはいかがですか?
リニューアルした売場で縄文の森ならではのグッズを販売しています。



縄文ZINE編集長が来園!!

日本人なら誰もが知っていて、それでいて誰もよく知らないという特異な時代。そんな縄文時代をテーマに面白おかしく紹介して、多くの縄文ファンを魅了するフリーペーパー『縄文ZINE』。

2019年2月6日(水)に『縄文ZINE』の編集長である望月様が当園にご来園されました!鹿児島に来る予定があったため立ち寄りて下さったのですが、展示館や復元集落、遺跡保存館等を見学してもらいました。当園を楽しんでいたが、「鹿児島の縄文早期はすごかった、また訪れたい博物館です。」と感想もいただきました。

わからないことが面白いと考える『縄文ZINE』編集長。そんなわからないことが多い縄文時代をその時代の土器等を見ることが想像してみませんか?皆様のご来園をお待ちしております!

～2019年4月～9月のイチ押しイベント～

第54回企画展

4月20日(土)～7月7日(日)開催

バックナンバー
いにしえ

古の美術品Ⅱ ～新聞でみた考古資料～

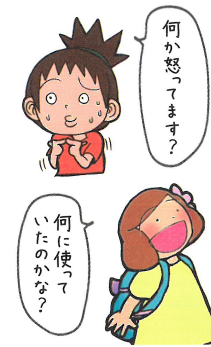
南日本新聞に3年以上にわたって連載中の「古の美術品」は、これまで160回以上の考古資料が紹介されており、写真とともに軽妙で面白い解説は、読者から好評を得ています。

今回の企画展では、新聞に掲載された考古資料のうち前回紹介できなかったものを展示し、視点を変えると見えてくる様々な用途やかたちの面白さなどを解説しながら、埋蔵文化財の新たな魅力をお届けします。

※展示図録『バックナンバー古の美術品Ⅱ』を発売(1冊700円)



▲鬼瓦(江戸時代) 鹿児島(鶴丸)城跡(鹿児島市)



▼双口土器(縄文時代) 上加世田遺跡(南さつま市) 河ロコレクション



企画展講演会(要事前申込)

日時 6月1日(土)
10:00～11:30

場所 展示館多目的ルーム

定員 80人程度

講師 県立埋蔵文化財センター
次長 大久保 浩二氏

資料代 100円

※講演会終了後、希望者を対象に企画展示室で講師によるギャラリートークを行います。(別途展示館利用料金が必要)

第16回 縄文の森春まつり

入場無料 (体験活動は有料)

縄文村に春が来た!!

緑いっぱい縄文の森にみんなでおいでよ!!

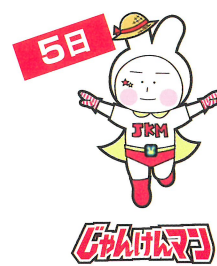
5月3日(金)～5日(日) 午前10時～午後3時
上野原縄文の森 体験広場

ステージイベント

子どもから大人まで楽しめるステージパフォーマンスは必見!
恒例の火おこし大会も毎日開催!



▲S☆UTHERN CROSS



縄文体験 古代の人々の生活を楽しみながら体感しよう!!
まつり限定の体験活動もあるよ!!



▲火おこし



▲弓矢&矢筒



▲竹細工(うぐいす笛)

縄文料理

上野原縄文の森支援会の会(愛称:どんぐり倶楽部)のみなさんが販売する「どんぐりうどん」はモチッとした食感です。ほかにも連穴土坑で調理した「くん製肉」や「くん製卵」もあります。



▲どんぐりうどん



▲くん製肉&卵

